

# 上越民商ニュース

発行  
上越民主商工会  
〒943-0827  
上越市栄町7-7  
TEL025-524-4816  
FAX025-524-3298

## スタンプ3つ集めて総額60,000円の商品券をゲットしよう!

### 民商料飲組合がスタンプラリーを企画

上越民商料飲組合(増村俊一組合長=喫茶プー横丁)は、お店を知ってもらい商売繁盛につなげようと民商会員の飲食業・小売業・サービス業の他、夜オリ出店者などに呼びかけてスタンプラリーを計画。34店舗が参加して1月10日~2月10日の1ヶ月間で開催する事になりました。(裏面にスタンプラリーチラシ(縮小)を掲載)

ルールは、ラリー参加店を利用するとスタンプを押してもらい、異なる3店舗を利用することでラリー完走となり、チラシにある応募はがきを送ると抽選で50人に総額6万円分のラリー参加店で使える商品券が当たる内容。

増村組合長は、「夜の街オリエンテーリングは

飲食店だけが対象なので、業種も広げより多くの事業者に呼びかけました。この規模で実施するのは初めてなので手探りの状態ですが、商売を伸ばしたいという要望に飲食店組合として応えようと実施することを決めました。大いにご利用いただき、商品券をゲットして

下さい。」と呼びかけています。ラリーチラシは民商にもあります。

## 年末調整も助け合いながら自分で計算

年末調整も自主計算・自主申告で助け合いな

## 消費税10%増税阻止の運動で暮らし・商売中心に経済を立て直そう

消費税10%への増税に「こんな経済情勢で増税していいのか」「このタイミングで上げたら間違いなく消費は冷え込んでしまう」といった批判が噴き出しています。増税中止の世論は過半数となっており、「10月消費税10%ストップ!ネットワーク」が呼びかける署名で増税中止の運動を一気に広げ、中止に追い込みましょう。

安倍首相の経済ブレーンの一人で、内閣官房参与を務めた藤井聡京都大学教授は、「10%への税率の引き上げは日本経済を破壊する」「栄養失調で苦しむ子どもにさらに絶食を強いるようなもの」と増税反対の声を上げることが大きな話題になりました。2014年の消費税8%への増税を契機に、

家計消費は年間25万円も落ち込み深刻な消費不況が続いています。こうした経済情勢の下で、いま増税することへの強い懸念が広がっています。さらに、消費税増税に対する「景気対策」という「ポイント還元」は混乱と不公平を招くことは必至と言われています。買う商品=食料品か非

食料品か、買う店=大手スーパーか中小小売店かコンビニか、買い方=現金かカードかで実質税率が3%、5%、6%、8%、10%と5段階になるなど批判が広がっています。『今年10月からの10%への増税を中止せよ!』の署名を集めに集め、増税のたくらみを葬り去る運動に全力を上げましょう。

記帳・決算、確定申告に対する疑問や不安が高まる時期です。「民商が行なう自主記帳・自主計算は、みんなで助け合い励まし合いながら行なうので心強

### 「税金の民商」の魅力伝え、読者と会員を増やそう!

い」と好評です。この民商の魅力伝え、商工新聞読者になってもらったり、民商会員になってもらう事は、不安を抱える仲間を助けることになります。みな

さんの周りにも困っているけど相談できる場所がない人はいませんか? 帳面どうしてる? 申告はどうしてる? 民商と一緒にやらないか!と一声かけ

て入会を呼びかけましょう。又、商工新聞には税金だけでなく商売繁盛や消費税の問題が満載だから読んで勉強しようと呼びかけましょう。

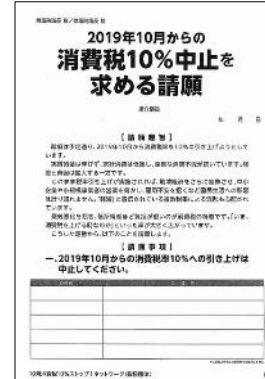
ながら完成させようと、1月7日午後は直江津地区で、8日と9日は高田地区で年末調整事務の学習会が開催され約50人が参加し、年末調整の流れを学習した他、消費税増税の問題点も交流しました。

小林文恵さん(飲食)は、「年調は、毎年の事なのでだいぶ慣れたけど、一応確認してもらわないと安心できない。

今回の消費税増税ではインボイス制度の導入や、軽減税率で飲食店は計算も面倒になってしまい本当に困る。ぜひ増税は中止させたい。」と話します。南雲芳夫さん(自動車販売)は、「年調事務は年に1回しかないので忘れてしまう。でも過去のコピーを見返して思い出しながらだいぶ早く出来るようになった。

消費税増税は、自民党的やりたい放題で生活が苦しくなるばかり。」と切なさを話してくれました。池田茂夫さん(建築板金)は、「年調事務は、分かりやすく教えてもらい、昨年の要領を思い出せたので何とか出来た。」と自分で計算することに自信を持ちました。年調学習会には、事前

に学習を積んだサポーターの町田玲子さんや岩佐トモミさん、大野智恵子さん、嶋田道子さん、



前年の要領を思い出しながら 年末調整事務を行う参加者

長谷川幸子さん、樋口香さんが参加し、参加者の質問と一緒に考えるやり方でサポートしてくれました。